



小さな木

レー ティ イエン
LE THI YEN

私の真中に小さな木があります。この木は人に見えない不思議な木です。この木の種は4年前日本に来た時に社長にもらいました。

4年前の私は18才で、何でも簡単に考えていました。仕事をするのが嫌いで、お金のことを大切に考えていませんでした。責任とはどんなことか分からず、困ることがあったらすぐ泣きました。その時は、そんな自分があたり前だと思っていました。

日本に来たばかりの時は「ここでうまく生活出来るかな」と不安でした。その時、社長が私達実習生を地域の祭に連れて行ってくれました。そこで地域の人たちと一緒に歌ったり、話したりしてとても楽しかったです。何回も参加して日本人と交流して、いつのまにか不安だった気持ちが安心に変わりました。社長がくれた種は「安心の芽」になりました。

日本に来て半年ぐらいたって、作文コンクールに参加しました。私は作文を書くために、一生懸命日本語を勉強しました。最初は日本語に自信がなかったけど、今は日本語が大好きになって、日本人とたくさん話せるようになりました。上司が言ったこともよく分かるようになりました。今、毎日仕事を楽しいです。私は「安心の芽」に毎日すこしずつ水をやって「努力の芽」に育てました。

私が働いている会社では、毎年旅行があっ

て、実習生も連れて行ってもらえます。そのおかげで私は日本のいろんな所に行くことが出来ました。その土地の文化や歴史、食べ物や景色を見ることが出来ました。旅行に行くたびに、私の知識がどんどん広がりました。地域が広がったおかげで、世界は自分のことだけじゃなくて、もっと広く見ないといけないと思いました。ですから、自分のことだけじゃなくて、周りの人のことも考えるようになりました。仕事では自分の後の工程に迷惑をかけないように仕事をするようになりました。「努力の芽」は「責任の芽」にすこしずつ成長しました。社長からもらった種は、日本で楽しく暮らすために必要なものでした。最初はよく分からなかったですが、仕事も生活も一生懸命努力して水をやりました。上司や同僚は私を熱心に、親切に指導してくれて、大きく育つように光をくれました。

日本に来て、4年目の私の気持ちの真中に小さな木が育ちました。小さいですが風がふいてもぜったい倒れない強い木です。この小さな木は安心、努力、責任で出来た幹に将来の楽しみとか、夢とか、自信の花が咲いています。今はまだ小さいですが、将来、この木がもっと成長するように、一つ一つの経験を大切にして、これからも大きく、強く育てていきたいです。

受賞の喜び



レー ティ イエン

国 籍 ベトナム
職 種 機械加工
実 習 実 施 者 シバタ精機株式会社
監 理 団 体 福岡素形材産業協同組合

社長から「最優秀賞ですよ」と聞いてから、私はずっと笑顔です。嬉しくて、すぐにベトナムの家族に電話をしました。家族は、「すごい！」と言って一緒に喜んでくれました。

3年前のコンクールで優良賞をいただいた時、「次は絶対ステージの上で発表したい」と思いました。だから、日本人とたくさん話をして、日本語の勉強会に必ず出席して、日本のテレビ番組を見て、日本語が上手になるように努力をしました。一番大切にしたい事は、人に感謝をすることです。人に感謝をすることで、考え方が変わりました。だからこの作文を書くことができたと思います。

このような賞をいただくことができたのは柴田社長をはじめ、職場の皆さんが熱心に私を育ててくれたおかげです。私は感謝の気持ちを言葉にすることは苦手ですから、作文の中に感謝の気持ちをたくさん入れました。気持ちが伝わるように、ステージで精一杯発表を頑張ります。皆さん、本当にありがとうございました。

指導員のことば

第25回コンクールで優良賞を頂いたとき、壇上でスピーチする最優秀賞の皆さんを見上げながら「次は最優秀賞！」と目標を掲げました。3年後の今、見事に目標を達成し、私たちも自分の事のように嬉しいです。

作文にも書いたとおり、日々の仕事や仲間との生活を通じてはもちろん、敬老会や歌合戦など地域の行事にも積極的にチャレンジし続けたことが今回の素晴らしい結果となり、一つ一つの経験を大切に大きく成長した姿は、後輩たちの目標となっていることでしょう。

帰国まであと一年、小さな木に咲いた花が大きな実となりますように、私たちも一緒に努力したいと思います。イエンさん、最優秀賞受賞、おめでとうございます！

所 属 シバタ精機（株） 氏 名 柴田めぐみ